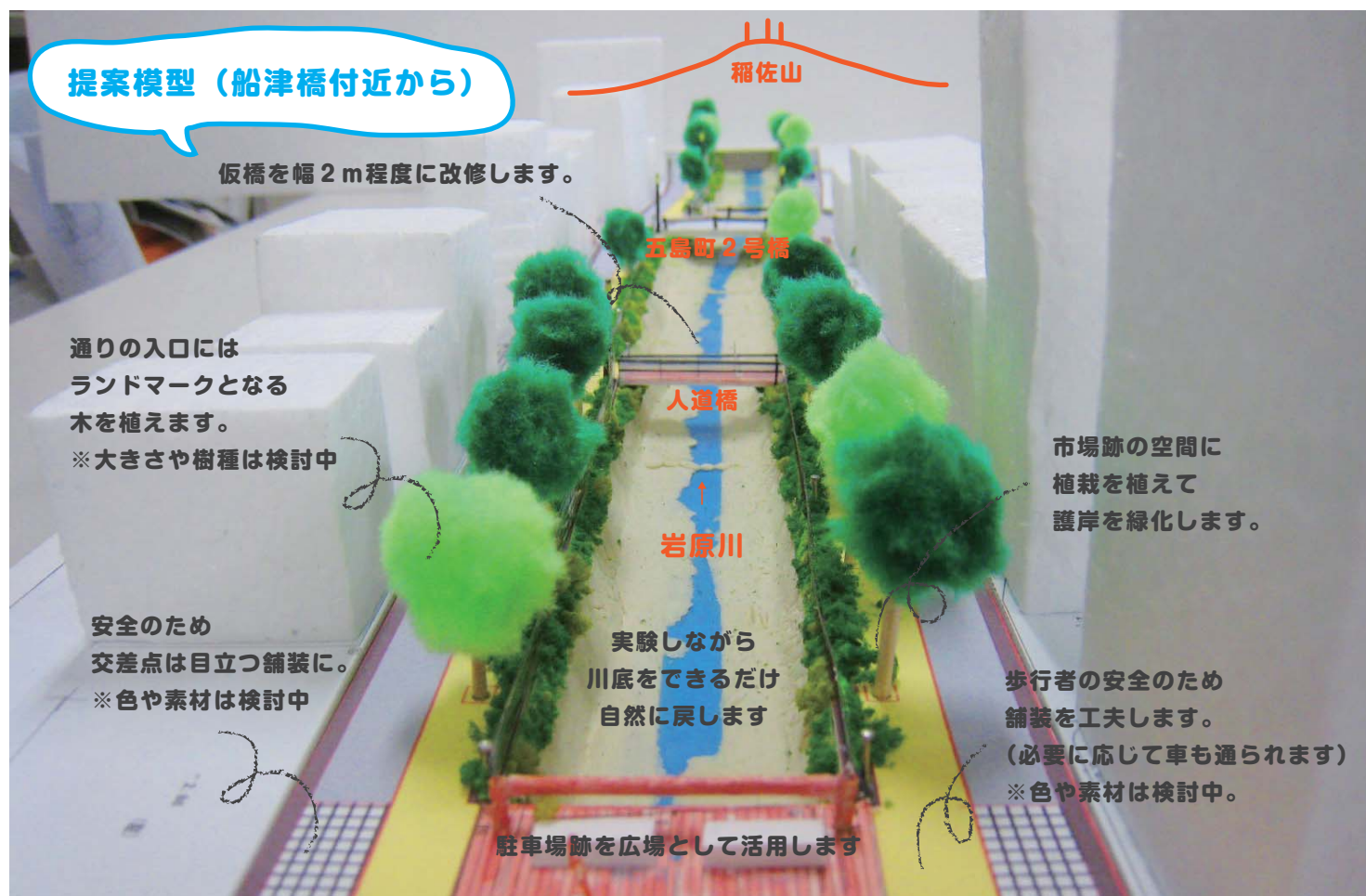


「第4回 岩原川エリアの未来を考えるワークショップ」を開催しました！

●第4回はどんなことをしたの？

これまでのワークショップ等で出た意見を参考に、来年度からの工事を予定している「**河川と道路の設計案**」を確認をしていただき、問題点などについてご意見をいただきました。特に、**道路整備**の方法について熱い議論が行われ、住んでいる方々と商売をされている方々、お互いに利用しやすい道路整備が求められることが分かりました。



●設計案の模型を披露！

設計案がより伝わるように1/200サイズの提案模型を製作しました！解析の結果、岩原川は長崎大水害クラスの大雨にも耐えられることから、石積み護岸は**補修・緑化**し、**川底を自然に戻**します。道路は**車がスピードを落とす工夫**をし、**緑を植**えます。船津橋前の駐車場跡も**広場**として活用します。**人道橋**は幅2m程度で改修します。

◎第4回ワークショップデータ◎

日程：平成25年12月16日（月）

時間：19:00-21:00

会場：長崎市立図書館新興善メモリアルホール

人数：17名

テーマ：河川と道路の設計案を確認しよう！



●沢山のご意見をいただきました！

設計案の模型と図面をチェックしていただき、問題点について貼り出していただきました。これを見ながら、座長が質問を行い、議論を深化させていきました。

●書き出されていたご意見一覧

- ・岩原川が常時、水が流れるセキの設置
- ・川を下りたところの道を整備してほしい
- ・賑わいを求めているので、両側に車は不要
- ・歩道は、住居側でないと危険
- ・歩道を少し広くしては・・・
- ・車の通りを規制（土日は歩行者天国など）
- ・片側のみ車道にして、道幅を変える
- ・片側だけ車が通らない時間を設けてほしい
- ・車道、歩道ともに狭い
- ・車道、歩道を石タタミに
- ・道路スペースをイベント広場やふれあい広場、憩いの

●広場にする（通常は道路で、場に応じて）

- ・車歩道におけるふれあい空間は、車や人の動態観測を行い、危険性がないことが分かってからがよい
- ・狭い川沿いの道路でどんな木を植樹するか（大きな木や桜の木が可能なのかどうか、検討課題として）
- ・電柱、電線は埋設してほしい
- ・ウッドデッキに「あずまや」がほしい。雨や日差し除け（雨の日や真夏でも過ごせるように）
- ・公園で遊歩道が切られているので、将来的には公園を通して市役所方面への遊歩道を確保してほしい
- ・両公園（環の浦公園・五島町公園）のグラウンドに緑・ベンチ・テーブルがほしい
- ・江戸時代のなごりを反映する（エリア全体のイメージ）
- ・建物が多く、見通しが悪いので木は少なくする
- ・まるみつ側の水道パイプはどのように考えているか？
- ・歩行者が大方に分けて、3～4方あるが県庁移転・新幹線が来るので賑わうと思う（動態調査の不足）